

2022 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [東洋女子高等学校] 担当教諭名 [木内 美穂] (2年1・2・3・4組 93名)

相手国・地域 [スペイン]

海外学校名 [IES Belen] 担当教諭名 [Rosa M Castro Caballero]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	現代文	「山月記」の月の描写が何を表しているのか 言語化してみよう！	2
	日本史・世界史	世界の壁画について学ぼう！	1
	総合的な学習の時間 その他	アートマイルプロジェクト	15

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	「質の高い教育をみんなに」・「つくる責任つかう責任」
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	我々をより良い世界に導いてくれる循環型経済を保持するために、質の高い教育は責任ある消費者になるよう我々を導き、将来責任ある消費者になれるよう準備をさせてくれるにちがいない。 そのために、適切な価格で売られた物を必要なだけ買うことで食べ残しや浪費をなくし、環境に優しい資源を活用して循環型経済を保持する。 そして、質の高い教育であるためには、選択の自由が守られかつ良い先生や設備のある環境の中で、皆が等しく教育を受ける権利を持つことが必要である。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・学年全員を8名×12のグループに分け、各グループの中で4名を交流・SDGs学習・壁画・広報のいずれかのリーダーに任命した。リーダーを中心に調べ学習やプレゼンを各グループで協力して行い、協働学習の意識を深められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー以外のメンバーの活動への意識や責任感に温度差が生まれてしまう場面があった。 ・従来の学校生活に戻っていく中で、授業や放課後の時間を確保したり、その他の活動と並行して実施したりすることが困難であった。 ・絵を描くことが苦手な生徒が多く、思いやメッセージを形にする際に苦戦した部分が見られた。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<p>・1学期に自己紹介のためのZoom会議を行い、相手国の文化について関心を持ったり、日本の文化が好きな相手校の学生と日本のことについて会話をしたりすることを通し、異国の同年代の方と会話を楽しむことができた。</p>	<p>・生徒と共にスペインの文化等を調べ考察していくにつれ、生徒だけでなく教員も相手国を身近に感じられるようになった。</p> <p>・SDGsや世界の諸問題についてより関心が高まり、教員によっては、これらの項目を自ら積極的に授業で取り扱っていた。</p>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・自国と相手国の政治、スポーツ、文化、経済、環境、教育など6のテーマから各グループ1つずつ担当し、調べたものを学年全体に発表した。 ・各クラスで「質の高い教育」と「つくる責任・つかう責任」について自国の現状や課題について学び、考察した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自国と相手国の文化等を調べ、比較することにより、各分野で新しい発見をしていた。 ・相手国の教育制度等、良いと思った点を「どうすれば日本でも導入できるか」等、考察することができた。 ・SDGsに触れ、世界の諸問題への興味関心が高まった。 	総合 放課後
共有 相手と意見交換	10月 11月	Zoom会議やフォーラムを通し、「質の高い教育の実現のために必要なことは？」と「つくる責任・つかう責任が達成されている取り組みは何か？」という2つの問いについてスペイン側の考えと本校の生徒の考えを比較し、共通点や両国の独自の視点を発見した。	メンタルヘルスを重視した教育やソーラーパネルの設置など、スペイン側が出した解決策が日本にない視点のものも多く、日本に置き換えた場合どうかと多角的な視点から解決策を考えていた。	総合 放課後
融合 メッセージ作成	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画のメッセージ決め (Zoom会議の際、スペイン側から「循環型経済」というキーワードを主としたメッセージの提案があった。壁画リーダーと交流リーダーが、スペイン側のメッセージを実現するための具体的な方法を付け加え、メッセージが完成した) ・壁画デザインの決定 (壁画リーダーが中心となって、メッセージにある様々なキーワードをモチーフで表し、それらを融合してデザインを決定した) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Zoom会議の際に出てきた解決策の中から、スペインとの共通点や特に込めたいキーワードを少人数のグループで各熟考し、どのようなメッセージを作成するか文脈・言葉の細部までこだわり、主体的に議論していた。 ・「循環型経済」や「選択の自由」など抽象的な言葉が多く、絵として具現化することに苦戦する場面もあったが、積極的にアイデアを出して話し合い、各が考えてきたデザインの魅力的な部分を巧みに融合してデザインを決定していた。 	総合 放課後
創造 壁画制作	6月 8月 10月 ～	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文や日本史・世界史で壁画を描くための知識付けや言語化の表現力を高める授業を実施 ・壁画鑑賞のポートフォリオを作成 ・壁画アーティストの方による講話 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外で壁画を描き、活躍されているミヤザケンスケさんに経験談や壁画への想いをお話していただき、皆で協働して壁画を描く意義を深めることができた。 	現代文 日本史 世界史 総合 放課後

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
創造 壁画制作	12月	・壁画の完成	・壁画リーダーが中心となって、学年全員で色塗りを行った。限られた時間で完成させ、円滑に活動を進めるために、自分が今何をすべきか視野を広げ、主体的に考え、協調しながら行動できている生徒が多かった。皆生き生きと活動し、想いを形にすることで大きな達成感を得られていた。	放課後
評価 振り返り 自己評価	1月 ～ 3月	・小論文の作成 (「質の高い教育」についての小論文を作成した) ・校内での壁画発表 (完成した壁画を見て感じたことや1年を通しての活動の成果についてワークシートを活用し、振り返った)	・自分の思いを言語化することによって、よりテーマについて探究し、考察することができた。 ・完成した壁画を見て、相手国の色彩感覚やテーマの捉え方等、各自新たな発見ができ、ワークシートにまとめることができた。	総合

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	5	自己紹介のZoom会議を通して、自国のポップカルチャーや食べ物がスペインでも知られていること、親しまれていることを知り、自文化の魅力を再発見することができることも、相手国への親しみを持つことができた。また、相手国の文化を調べ、全体に発表することで、異文化についての理解をより深めることができた。
主体的に考え行動する力	4	リーダーを中心に、活動を充実させるために自らどのように動くべきなのか、周りを見て先を見通しながら行動できていた。自分の意見をしっかり持ち、グループのメンバーとも協力して活動することができていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	「質の高い教育」、「つくる責任・つかう責任」ともに相手国との考えの相違点から、客観的に相手国の独自の視点を感じ取ったり、自国に置き換えた場合どうなのかと比較したりすることができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	Zoomでの会議を通して、共通の話題で異国の同年代の学生との会話を楽しむ力を育むことができた。Zoom会議での意見交換も積極的に相手校の生徒と会話することができていた。壁画制作では、掲示板でのやりとりを通してデザインや想いを共有して壁画を完成させ、共同制作することの楽しさや達成感を感じることもできた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	自分の意見をしっかり持つことで積極的にアイデアを出し、様々な意見を取り入れながらよりよいものにしようと融合していく姿勢が見られた。しかし、絵を描くことが苦手な生徒が多かったため、思い浮かべるデザインを実際に手で形にしていこうと苦戦したり、消極的になってしまったりする部分も見られた。